

第1回 吉野川流域治水協議会 議事概要

1. 日時：令和2年8月20日(木) 16:00～16:30

2. 場所：Web会議

3. 協議会構成員

徳島市 市長 内藤 佐和子（代理：副市長 折野 好信）
鳴門市 市長 泉 みちひこ（代理：危機管理課長 森岡 正則）
吉野川市 市長 原井 敬
阿波市 市長 藤井 正助
石井町 町長 小林 智仁
松茂町 町長 吉田 直人（代理：副町長 森 一美）
北島町 町長 古川 保博
藍住町 町長 高橋 英夫（代理：建設産業課長 高木 律生）
板野町 町長 玉井 孝治
上板町 町長 松田 卓男
美馬市 市長 藤田 元治（代理：経済建設部監理課主幹 近藤 敦）
三好市 市長 黒川 征一
つるぎ町 町長 兼西 茂（代理：副町長 大垣 浩志）
東みよし町 町長 松浦 敬治（代理：副町長 川原 誠男）
本山町 町長 細川 博司
大豊町 町長 岩崎 憲郎
土佐町 町長 和田 守也
大川村 村長 和田 知士
いの町 町長 池田 牧子
徳島県 県土整備部長 貫名 功二
徳島県 東部県土整備局長 久米 正浩
徳島県 西部総合県民局 県土整備部長 旭 仁史
高知県 危機管理部長 堀田 幸雄（代理：危機管理部 副部長 竹崎 幸博）
高知県 土木部長 村田 重雄（代理：河川課 課長補佐 山本 治良）
水資源機構 池田総合管理所長 足達 謙二
四国地方整備局 徳島河川国道事務所長 新宅 幸夫
四国地方整備局 吉野川ダム統合管理事務所長 福田 浩

4. 配付資料

議事次第

(資料1) 設立趣旨

(資料2) 規約(案)

(資料3) 協議会での検討事項と今後の進め方(案)

(参考資料1) あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換

(参考資料2) 流域における対策事例について

(情報提供) 7月豪雨による浸水状況について

5. 議事概要

- ・流域治水協議会の設立趣旨および「流域治水」の考え方、吉野川流域治水プロジェクト公表に向けた今後の協議会スケジュール、吉野川流域治水プロジェクトの素案を説明し、了承を得た。
- ・国や自治体の対策事例として、これまでの吉野川流域における取り組み事例及び今後予定されている取り組み等について情報交換を図った。

《流域における対策事例等》

・水資源機構

早明浦ダム、富郷ダム、新宮ダムでは利水者の理解を得て、事前放流実施要領を作成。

今年の梅雨前線による出水時に、早明浦ダムで2回、富郷ダムで1回の事前放流を実施している。

引き続き台風期に備え、適切な運用を行っていききたい。

・吉野川市

吉野川の支川、ほたる川流域においては内水被害に長年悩まされてきた。

特に平成16年10月の台風23号で甚大な被害を被った。

このため、国、県、市の連携によるハード・ソフト両面にわたる総合的な取り組みを実施。

国による排水機場の新設、県による河道改修、市による雨水浸透貯留施設の整備を実施。

周辺流域の開発行為への許可制導入など、土地利用規制も実施。

これらの対策により、流域住民の安全・安心な生活が向上した。

・板野町

令和3年4月オープンに向け、道の駅いたのを建設中。

本建設に合わせて、保水、遊水機能を確保するため地下式調整池の設置を予定。

施設近隣への治水対策として本計画を実施していききたい。

《今後の方針について》

・徳島河川国道事務所

ここ数年、毎年のように全国各地で大きな災害が起こっている。

これらの出水に関しては、河川管理者の対策に加え、流域全体の皆様方が主体的に治水対策に取り組んでいただくことが必要。

スケジュールとしては、今年度中に流域治水プロジェクトを策定したいと考えている。

吉野川流域の安全安心を確保するため、皆様と十分に情報の共有、意見の交換をし、上流・中流・下流それぞれで対策を立てていききたい。

以上